

トナリ、大小屋ニ懸鏡アリ、天正十九年、駿州ノ人奉納ノ由彌付アリ、上ノ小屋ト云ルニ銅像ノ地  
藏アリ、雨天ニハ水氣ヲ含ム故、汗カキ地藏ト云フ、是ヨリ上ハ詣人雨具ヲ持ズ、行者ハ小室、或ハ  
中宮、或ハ七合目ヨリ不持、尊敬ノ至リナリト云フ、サレバ自餘ノ詣人ハコレニ拘ラザルニ似タ  
レドモ、實ハ七合目以上ハ下ヨリ雨ヲ吹上ゲ、蓑ハ頭ニ覆ヒ、笠ハ飛テ鳥有トナリ、共ニ用ニ足ラ  
ザル故也、ト云リ、光清派ノ行者ハ初ヨリ雨具ナシ、モシ雨ニ遇フトモ、行ノ德ニテ濡レズト云フ、  
可怪ノ甚シキ也、余客申謙ザル者二人チ知ル、一ハ旅商人長兵衛、一ハ谷村中町河口屋ノ下代ハ行者  
ナト同道シタ計リテ濡マセ  
ナシダト、肝チ消テ話レリ、

九合目、小屋一軒アリ、向フ薬師ト云フ、是ヨリ最險惡ノ所ニテ、少シク登レバ日ノ御子ト稱スル  
石アリ、詣人此ニ日出ヲ拜ス、此ヨリ上ヲ胸突ト云フ、其險難想フベシ、胸突ヲ經テ鳥居御橋ト云  
フ所ニ到ル、役場也兩邊ニ攢ヲ立テ、石ヲ盛テ階ノ如クシ、左右ニ扶手アリ、之ニ傍テ升降ス、

頂上、升リ得タル所ヲ薬師ガ嶽ト云フ、薬師ノ小堂アリ、役場也別當富士郡大宮ノ大宮司ナリ、小屋  
八間アリ、團子牡丹餅ヲ賣ル、團子ハ宇都山ノ十團子ヨリ少シ大アリニテ、五ツ五文、牡丹餅ハ余  
イノ豆粉バカリ也、湯水茶、スペテ五合目ヨリ上ハ薪ナク、水ナシ、薪ハ五合目ヨリ下ノ深谷ニ採テ  
イヅレモ一盤五文也、文宛也負擔シ上リ、水ハ冰雪ヲ持來リ、屋上ニ置キ、日陽ノ力ヲ得テ、屋隙ヨリ滴ヲ桶中ニ貯フル故ニ、飲  
ムニ臭氣アリト云フ、余コレ乍テ直ニ氣死セントスモシ一飲セバ乍チ下半生チ結果スペシ、シ絶頂周回一里ニシテ數峯兀立ス、コ  
レヲ八葉ト云、皆佛號ヲ以テ喚ブ、八葉トイヘドモ、數八ツハナシ、諸人ハ訛リテ御八リヤウチ巡  
メナル事知ルナリト有、訛中央ニ空坎アリ、内院ト云フ、深サ十町餘此ヨリ忽チ雲ヲ生ジ、忽チ風ヲ生ズ、  
坎中南ヨリ差出タル岩アリ、虎石トモ獅子岩トモ云フ、都良香ノ記ニ、石體如蹲虎トアルハ、豈是  
ヲ謂フ歟、八合目ヨリ上ニ異鳥アリ、内院燕ト云フ、形鵠ノ如シ、高ク飛テ下ル事ナク、雲際ニ群飛  
スルヲ看レバ、檐端ノ蚊陣ノ如シト云リ、薬師ケ嶽ヨリ左ニ巡リテ、吉田須走ヨリ登ル者ノ拜所